

「1者応札・1者応募」となった契約の改善方策について

独立行政法人家畜改良センター

1 共通的な改善方策

- (1) 「1者応札・1者応募」(以下「1者応札」という。)の発生原因については、契約の類型ごとに異なる点も多いが、多くの類型に共通する原因としては、
- ア 発注者側が業務の品質確保の観点から企業や技術者に求めていた実績要件、資格要件に対応した事業者が不足していた場合があったこと
 - イ 受注者側が、資格要件、業務内容からみて業務の確実な履行が行えるかの経営判断を行い、応札を断念する場合があったこと等が考えられる。
- (2) このため共通的な改善方策としては、
- ア 企業や技術者に求める実績要件、資格要件について、競争性の確保を図る観点から、業務の品質確保を図りつつ、必要最小限のものとする
 - イ 応札しやすい環境整備を図るため、
 - (ア) ホームページの調達情報を事業者側からみて分かりやすいものに改善する
 - (イ) 公告時期の早期化や企画書等の作成期間を十分確保する等を行うこととする。

2 類型ごとの改善方策

飼料等の購入

- (1) 1者応札となった原因としては、
- ア 育種改良のため配合を指定した飼料を調達する必要があるため、近隣で対応できる業者が限定される
 - イ 防疫体制上、飼料の加熱や運送等に厳しい条件を付す必要があるため、近隣で対応できる業者が限定される
- ということが考えられる。
- (2) 1者応札の改善方策としては、1者応札となった原因を考慮すると有効な方策を見いだしにくいが、公告期間を十分にとり、必要な情報提供を行い、応札しやすい環境を整え応札者の増加を図ることとする。

受精卵の購入

- (1) 1者応札となった原因としては、家畜の育種改良を目的として導入する育種素材にあっては、遺伝的能力の向上と遺伝的多様性の確保のため、あらかじめ能力と血統から受精卵を特定していることから、当該育種素材の所有者は限定されていることによる。
- (2) 1者応札の改善方策としては、参加要件は必要最小限としていること、能力と血統から受精卵を特定しているため仕様の変更は出来ない。また、能力の高いものを速やかに調達する必要から公告期間見直しは出来ないため、有効な方策を見いだしにくい。このため、対応策としては、調達品目の仕様に関する情報提供を適切に行い、応札しやすい環境を整え応札者の増加を図ることとする。

インターネット回線設置敷設及びインターネット接続サービス

- (1) 1者応札となった原因としては、辞退した業者に確認したところ、開札日から回線の開設日までの期間が短いため、対応できないとの回答を得たことから、納期（設置期間）までの期間を十分に取れていなかつたことが原因であった。
- (2) 1者応札の改善方策としては、公告期間及び納期までの期間を十分にとり、必要な情報提供などを行い、応札しやすい環境を整え応札者の増加を図ることとする。

新築工事監理業務

- (1) 1者応札となった原因としては、監理工事規模が大きいため、設計者以外が参入するには業務負担が大きかったと思われる。
- (2) 1者応札の改善方策としては、公告期間を十分にとり、必要な情報提供を行い、応札しやすい環境を整え応札者の増加を図ることとする。

電気供給業務

- (1) 1者応札となった原因としては、他に供給余力のある者がいなかつたため。
- (2) 1者応札の改善方策としては、公告期間を十分にとり、必要な情報提供を行い、応札しやすい環境を整え応札者の増加を図ることとする。